

事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	土木部 道路維持課
施策名	(3) インフラの長寿命化の推進	課(室)長名	馬場 一孝
事業群名	インフラの戦略的な維持管理、更新の推進	事業群関係課(室)	港湾課、住宅課、河川課

1.計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 国のインフラ長寿命化計画や長崎県公共施設等総合管理基本方針に基づき、計画的で適切な維持管理や更新によって、トータルコストの縮減・平準化を図り、インフラを安全に、より長く利用できるように取り組みます。						(取組項目))橋梁、トンネルの維持管理更新)港湾施設及び県管理空港施設の維持管理更新)県営住宅の維持管理更新)ダム、水門、樋門の維持管理更新)道守制度の活用
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析) 橋梁長寿命化修繕計画(第二期:H27～H36)では、今後10年間は橋の修繕を集中的に実施し、予防的な修繕への転換を図ることとしている。 平成28年度は8橋の補修が完了し、累計170橋と目標を達成出来た。
事業群	橋梁の補修実績数	221橋	170	170	100%	
関連指標 その他						

2.28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
	所管課(室)名		H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—		
取組項目	橋梁の維持管理更新 (橋梁補修費)(公共)	—	2,329,892	63,372	—	県管理道路利用者	平成26年度に改訂した長崎県橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修が必要な8橋に対して対策を実施した。	活動指標	橋梁の補修実績数(累計)(橋)	170	170	100%	計画に基づいた補修を行うことによって、目標を達成し、安全で快適な交通の確保を図ることができた。	○
	道路維持課		2,515,101	67,930	—			成果指標	予防的な補修により安全性が保たれた橋梁の割合(%)	174	—	—		
										97	97	100%		
							100	—	—					
	舗装の維持管理更新 (舗装補修費)(公共)	—	1,516,419	14,275	—	県管理道路利用者	平成26年度に改訂した長崎県舗装維持管理計画に基づき、補修が必要な箇所に対して対策を実施した。	活動指標	舗装の補修箇所数	30	88	293%	舗装版の劣化が想定より進行していたため、延長当たりの補修コストが増となり、成果目標を達成することができなかったが、舗装補修により、安全で快適な交通の確保を図ることができた。	○
	道路維持課		1,089,603	16,563	—			成果指標	舗装の補修延長(km)	49	—	—		
										38.0	32.0	84%		
								20.0	—	—				
	橋梁補修事業	—	93,127	27	3,217	県管理道路利用者	小規模補修が必要な橋梁に対して対策を実施した。	活動指標	橋梁の補修実績数(橋)	3	3	100%	橋梁補修をすることで安全で快適な交通の確保を図ることができた。	
	道路維持課		119,124	124	4,037			成果指標	補修して安全を確保した橋梁数	1	—	—		
3										3	100%			
							1	—	—					

取組項目	舗装補修事業	—	1,063,317	217	32,972	県管理道路利用者	平成26年度に改訂した長崎県舗装維持管理計画に基づき、補修が必要な箇所に対して対策を実施した。	活動指標	舗装の補修箇所数	84	89	105%	舗装版の劣化が想定より進行していたため、延長当たりの補修コストが増となり、成果目標を達成することができなかったが、舗装補修により、安全で快適な交通の確保を図ることができた。	
			1,032,043	143	36,333			成果指標	舗装の補修延長 (km)	26.0	23.4	90%		
	道路維持課									22.9	—	—		
	舗装調査費	—	4,178	4,178	0	県管理道路利用者	路面性状調査を実施し、舗装維持管理システムの保守・点検及び路面性状データを更新し、道路舗装の補修計画を立案した。	活動指標	路面性状調査結果更新 (km)	250	274	109%	適切にシステム管理し、最適な舗装補修の計画立案ができ、ライフサイクルコストの低減が図られている。	
			3,969	3,969	0			成果指標	舗装修繕区間に関するデータの把握 (km)	2,447	2,447	100%		
	道路維持課									2,450	—	—		
	トンネル安全施設費	—	12,600	0	0	県管理道路利用者	トンネル内の照明灯の清掃等を実施し、交通安全を図った。	活動指標	トンネル照明灯の清掃等の実施箇所数	1	1	100%	照明施設を適切に維持管理することで、トンネル照明施設の管理瑕疵による事故が発生しなかった。	
			10,080	10,080	0			成果指標	トンネル照明施設の管理瑕疵による事故件数	0	0	100%		
	道路維持課									0	—	—		
	道路維持補修費	—	999,432	375,722	31,364	県管理道路利用者	苦情処理、除草、舗装補修等の危険箇所の緊急補修及び交通安全施設等の維持管理を行った。	活動指標	バトロール走行距離	数値目標なし	604,813	—	道路バトロールを実施することで、道路の異常を3,993件発見することができた。	。
			1,043,503	533,963	36,333			成果指標	バトロールによる異常発見件数	数値目標なし	3,993	—		
	道路維持課									数値目標なし	—	—		
	道路照明灯管理費	—	269,373	269,065	8,042	県管理道路利用者	道路照明灯を点灯することにより、夜間の道路利用者(車両及び歩行者)の安全を図った。	活動指標	道路照明灯等の電気料金支出(式)	1	1	100%	照明灯を適切に点灯することで、照明灯の管理瑕疵による交通事故が発生しなかった。	
			261,788	260,904	8,881			成果指標	事故発生件数	0	0	100%		
	道路維持課									0	—	—		
	道路清掃委託費	—	75,628	14,064	2,413	県管理道路利用者	県管理道路の路面清掃及びガードレール清掃を行った。	活動指標	県管理道路の清掃業務の委託(式)	1	1	100%	路面清掃等を適切に行うことで、道路清掃の瑕疵による事故が発生しなかった。	
			73,359	73,359	2,422			成果指標	道路清掃の瑕疵による事故件数	0	0	100%		
	道路維持課									0	—	—		
	道路緑化維持・整備景観費	—	657,234	329,560	20,105	県管理道路利用者	県管理道路の高木や花壇の維持管理、道路維持整備(除草等)を行った。	活動指標	緑化維持・整備景観の発注(式)	1	1	100%	高木や花壇の維持管理を適切に行うことで、美化向上を図ることができた。また、道路敷の除草等を行うことで、通行や視距障害を無くし、道路の安全を図った。	
			638,573	638,573	21,800			成果指標	緑化区間の管理瑕疵による事故件数	0	0	100%		
	道路維持課									0	—	—		
	道路管理事務費	—	6,962	1,165	0	県管理道路利用者	道路の管理瑕疵を原因とする事故が起こった際、被害者救済のため、加入した保険で損害の賠償を行った。	活動指標	保険加入(式)	1	1	100%	道路の管理瑕疵を原因とする事故は平成28年度に41件発生しており、被害者と示談を締結し、必要に応じた額の賠償を行った。	
			8,556	0	0			成果指標	管理瑕疵による道路事故に伴う賠償(%)	100	100	100%		
	道路維持課									100	—	—		
	官民連携調査費	(H29補正) H29	—	—	—	県管理道路利用者	道路、港湾、河川、ダム、漁港、空港、農道、林道、森林資源を対象に官民連携事業の導入可能性調査を実施する。	活動指標	連携事業の導入可能性を調査する施設等の件数(件)	—	—	—	—	
			13,000	0	0			成果指標	可能性調査を行った施設等のうち、導入の可否を判断した割合	9	—	—		
	道路維持課									1	—	—		

取組項目	空港維持管理費	—	380,991	355,791	39,405	県有空港施設	長崎県が管理する空港(福江空港、対馬空港、壱岐空港、上五島空港、小値賀空港)において、管理運営及び場周柵補修等の土木施設及び航空灯火補修等の照明施設の維持更新工事を実施した。	活動指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	—	県有空港施設の維持管理を行い、航空機の安全運航に寄与した。	
			351,336	327,449	39,563					数値目標なし	—	—		
	港湾課							成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%		
										0	—	—		
	ポートパーク整備事業費	—	15,734	154	1,608	港湾利用者	長崎港、茂木港、大村港において、照明器具設置、浮桟橋補修、係船環改修などを実施した。	活動指標	事業実施港数	4	3	75%	地域のニーズや経年劣化により施設の改修および維持補修が必要となっており、施設の整備を進めることにより、プレジャーボートの係留における安全性の向上を図ることができた。	
			16,593	158	1,615					4	—	—		
	港湾課							成果指標	H28:受入施設における許可隻数(隻) H29:施設破損による事故件数(件)	2,612	2,098	80%		
										0	—	—		
	長崎空港維持管理費	—	32,085	24,544	2,413	長崎空港周辺県有施設	長崎空港花文字山、隣接県有地・管理用道路・連絡通路の維持管理工事や、連絡通路維持管理委託(警備・清掃・昇降機点検等)を実施した。	活動指標	利用客数(千人)	数値目標なし	120	—	長崎空港の花文字山を維持管理することにより、空港利用者へ長崎空港をアピールし、長崎の印象を強めることに貢献した。また、県有地を適切に管理することにより、保安施設の維持管理に支障を来たすことなく、航空機の安全運航に寄与した。	
			39,595	32,588	2,422					数値目標なし	—	—		
	港湾課							成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%		
										0	—	—		
	港湾施設維持管理費	—	667,572	281,293	147,562	港湾施設	港湾施設の維持補修及び管理運営を行った。	活動指標	適正な港湾管理	数値目標なし	適正管理	—	港湾施設・緑地・海面の安全性の確保に努めた結果、管理瑕疵による事故が発生しなかった。	
			818,700	379,393	148,561					数値目標なし	—	—		
	港湾課							成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%		
										0	—	—		
	福江空港整備費(公共)	H24-31	15,974	23	—	照明施設	受配電設備の更新工事を実施した。	活動指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	—	照明施設の老朽化に伴う更新工事を行うことにより、航空機の安全運航に寄与した。	
			208,461	85	—					数値目標なし	—	—		
	港湾課							成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%		
										0	—	—		
	対馬空港整備費(公共)	H25-31	454,676	24	—	土木施設 照明施設	土木施設(滑走路舗装)及び照明施設(航空灯火)の改良・更新工事を実施した。	活動指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	—	土木施設及び照明施設の老朽化に伴う更新工事を行うことにより、航空機の安全運航に寄与した。	
			342,545	109	—					数値目標なし	—	—		
	港湾課							成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%		
										0	—	—		
取組項目	公営住宅建設費(公共)	—	1,606,793	10,690	—	県営住宅	長崎県公営住宅等長寿命化計画に基づき、建替えや住戸改善事業を実施することにより、バリアフリー化された、安全に安心して生活できる県営住宅を整備した。 深堀団地(建替)1棟37戸 花高団地(改善)2棟60戸 毛井首団地(改善)1棟20戸	活動指標	適正な県営住宅の管理	数値目標なし	適正管理	—	管理瑕疵による県営住宅の外壁が落下する事故は発生しなかった。	。
			1,196,367	4,370	—					数値目標なし	—	—		
	住宅課							成果指標	住宅の外壁落下による事故(件)	0	0	100%		
										0	—	—		

取組項目	堰堤改良事業費(公共)	—	539,815	58	—	事業実施ダム下流河川沿川住民	県管理のダムにおいて、その効用の継続的な発現のため、ダム設備の機能の回復または向上を図った。	活動指標	事業実施施設数	4	5	125%	県管理の5ダム(野々川、江永、樋口、雪浦、福江ダム)において設備の更新・機能向上を行い、管理瑕疵による事故は発生しなかった。	。
			1,745,884	64	—			成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	3	—	—		
	0									0	100%			
	0									—	—			
特定構造物改築事業費(公共)	H21-	41,405	83	—	事業実施河川沿川住民	県管理の水門・樋門施設について、その効用の継続的な発現のため、施設の点検整備を行った。	活動指標	事業実施施設数	4	4	100%	県管理の樋門(日野、小野、万灯)、水門(相浦)について、施設の点検整備を実施することで管理瑕疵による事故は発生しなかった。	。	
		40,660	60	—			成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	4	—	—			
	0								0	100%				
	0								—	—				
道守育成事業	H26-29	3,000	3,000	0	地元自治体職員、地元企業職員等	道路施設の適切な維持管理のために、道路施設の点検に不可欠な高度な技術力を持つ道守を育成した。	活動指標	道守育成講座の開催回数	4	6	150%	講座受講需要の高まりと、コスト縮減から計画を上回る実績となっており、道守の養成数は増え、成果は確実に上がっている。	。	
		3,000	3,000	0			成果指標	道守の人数(累計)	4	—	—			
	205								225	109%				
	265								—	—				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

①橋梁、トンネルの維持管理更新 ・橋梁長寿命化修繕計画(第二期:H27～H36)に基づき、計画的な補修を行っており、今後は対症療法的な修繕を早期に完了することで、平成30年度からの予防保全型への移行を目指し、今後も長寿命化及びトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・道路トンネル維持管理計画(第二期:H27～H31)に基づき、予防保全型の維持管理を行っており、道路の安全な利用に寄与している。今後も、計画的な維持管理を継続する。 ・道路舗装維持管理計画(第二期:H27～H31)に基づき、早急に補修が必要な箇所を重点的に補修を行い、予防的補修への移行を目指し、今後も計画的に舗装の延命化とコスト縮減を図る。 ・道路照明灯、ガードレールなどの附属施設の維持管理及び道路環境を良好に保ち、道路の安全な利用に寄与しており、今後も計画的な維持管理を継続する。 ・管理瑕疵による事故は平成28年度に41件発生しており、このうち14件は局所的なポットホール及び陥没などによる舗装損傷が原因のバンクとなっているので、今後、道路パトロールによる異常個所の早期発見に努めるとともに、不測の事態への対応のためにも道路管理事務費の継続が必要である。
②港湾施設及び県管理空港施設の維持管理更新 ・計画的に適切な維持管理や維持工事を実施することにより、成果指標である「管理瑕疵による事故数(件)」は、発生しておらず、適切に維持管理ができているが、インフラ施設の老朽化が進む中、施設の全てを巡回することが難しい状況であり、今後、維持管理に係るコストを削減しながら、いかに効果的に施設の巡回を行い、事故の発生を未然に防ぐ必要がある。 ・ボートパーク整備事業は、成果指標を「受入施設における許可隻数(隻)」とし、目標値を2,612隻としていたところ、実績は2,098隻となり、達成することができなかった。原因は、そもそも許可制度を知らない利用者や、許可制度を知っていても、使用料を支払いたくないとの考えから、敢えて許可を受けない利用者が相当数いることにありと考えられ、許可率は8割程度にとどまり、放置艇の減少が思うように進んでいない。従前から、施設整備及び関係者への周知は行っているが、今後の周知方法、敢えて許可を受けない利用者に対してどのように働きかけを行っていくかが課題となっている。
③県営住宅の維持管理更新 ・平成28年度において成果指標としている「住宅の外壁落下事故」は、発生しておらず、適切に維持管理を行うことができているが、適切な維持管理、トータルコストの縮減及び管理費用と家賃収入とのバランスが課題である。
④ダム、水門、樋門の維持管理更新 ・早急に対処が必要な箇所を計画的に対応することで適正に維持管理ができおり事前の事故防止が出来ている。 ・大型の水門・樋門については、策定した長寿命化計画に則り補修を行うことでライフサイクルコストの縮減を図る。 ・県管理のダムは現在35ダムあるが、堰堤改良事業によりダム設備の機能回復、向上を図っていくためには、平成30年度より国庫補助の採択条件として長寿命化計画の策定が必須となるため、平成29年度中に策定する必要がある。

）道守制度の活用

・大学と協働し、インフラ構造物の維持管理や再生・長寿命化に携わる人材は確実に養成されているが、離島地域などでの人材が不足しているため、今後も引き続き道路施設の点検に必要な技術力を持つ道守の育成を継続して、県内全域での人材確保が必要である。

4.29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	橋梁補修事業	—	—	道路管理者として道路橋を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、橋梁補修を行うことで道路の安全な利用を図る。	現状維持
	舗装補修事業	—	—	道路管理者として道路舗装を適切に管理する義務があり、予防的補修に移行できるよう、早期に補修が必要な箇所を重点的に行う。今後も本事業を継続し、舗装補修を行うことで道路の安全で快適な利用を図る。	現状維持
	舗装調査費	—	—	道路管理者として道路舗装を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、舗装維持管理システムを管理し、最適な舗装補修の計画立案で、ライフサイクルコストの低減を図る。	現状維持
	トンネル安全施設費	—	—	道路管理者としてトンネル照明灯等を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、照明施設を適切に維持管理する。	現状維持
	道路維持補修費	—	—	道路管理者として道路を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、道路の安全な利用を図る。	現状維持
	道路照明灯管理費	—	—	道路管理者として道路照明灯を点灯することにより、夜間の道路利用者(車両及び歩行者)の安全を図る義務があり、今後も本事業を継続する。	現状維持
	道路清掃委託費	—	—	道路管理者としてガードレール等の施設を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、道路の安全な利用を図る。	現状維持
	道路緑化維持・整備景観費	—	—	道路管理者として植樹等を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、通行や視距障害を無くし、道路の安全な利用を図る。	現状維持

取組 項目	道路管理事務費	—	—	道路の維持管理を行っているところであるが、今後も管理瑕疵を原因とする事故が発生する可能性があり、本事業を継続する。	現状維持
	官民連携調査費	H29新規	—	—	終了
取組 項目	空港維持管理費	—	—	インフラの老朽化に起因した事故を未然に防ぎ、航空機の安全運航を維持するため、事業を継続する。	現状維持
	ボートパーク整備事業費	—	—	既存施設には、劣化や老朽化などが著しいものがあるため、許可制度により新たに許可を取った船を今後受け入れていくために維持修繕が必要なことから、適切に整備を行い、事業を継続する。	現状維持
	長崎空港維持管理費	—	—	長崎空港の花文字山は、観光客を始めとする空港利用者に対し長崎を強く印象づける効果があること、また、航空機の安全運航の観点から保安施設の維持管理に支障をきたさないように県有地を管理する必要があることから、事業を継続する。	現状維持
	港湾施設維持管理費	—	—	計画的に適切な維持管理や維持工事により、港湾施設利用の安全な利用を確保するため、今後も引き続き事業を継続する。	現状維持
取組 項目	道守育成事業	平成29年度は育成講座の開催地の工夫や開催回数を決定する必要がある。	—	インフラ構造物の維持管理や再生・長寿命化に携わる人材は確実に養成されているが、離島地域などでの人材が不足しているので、今後も引き続き道路施設の点検に必要な技術力を持つ道守の育成を継続して、県内全域での人材確保が必要である。	現状維持